

# 会 議 録

## 1 会議名

令和4年度 第3回頸城区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

○地域活動支援事業の採択について

○自主的審議事項について

### (2) その他（公開）

## 3 開催日時

令和4年5月17日（火）午後6時30分から午後8時30分まで

## 4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

## 5 傍聴人の数

3名

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・ 委 員：上村閨一（会長）、佐野喜治（副会長）、小川泉、笠原昇治、佐藤学、新保哲男、滝本篤透、西巻肇、橋本春美、船木貴幸、宮澤房子、望月博、山本誠信、横山一雄（委員14人全員出席）
- ・ 事務局：頸城区総合事務所岡村所長、本間次長、井部市民生活・福祉グループ長、本山教育・文化グループ長、総務・地域振興グループ渡辺班長、市川主査

## 8 発言の内容

### 【本間次長】

- ・ 会議の開催を宣言

### 【上村会長】

- ・ 挨拶

### 【本間次長】

- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

- ・会議録の確認：小川委員、笠原委員に依頼

【上村会長】

次第3 協議事項「(1) 地域活動支援事業の採択について」に入る。事務局に説明願う。

【渡辺班長】

- ・事務局からの説明

【上村会長】

- ・採択方針に適合するかの確認と採択意見無し。

【上村会長】

- ・付帯意見の確認

【横山委員】

採択は決定したが、事業費の一部を減額することは可能か。事業No.6 坂口記念館を拠点とした「くびきの地力」活性化推進事業でエプロン等は個人の持ち物になるので、その部分の事業費を補助対象とするかどうか検討してほしい。

【上村会長】

先ほど頸城区の採択方針に適合するか確認した段階で、そのような意見は出てこなかった。委員はそのことも踏まえ採択をしたと思う。採択基準上、問題はないか事務局の説明を願う。

【渡辺班長】

委員で協議した結果であれば、事業費を一部削り採択することは可能である。

【上村会長】

委員全員で協議し、採択が決定した後の段階で、再度、元に戻って補助金額を変更する協議をするのは会議の進め方としてどうか。

【横山委員】

エプロン等がないと作業や接客ができないのか再度、皆さんと考えたい。私としてはエプロン等の金額を削除して採択してはどうかと思う。

【上村会長】

補助申請を受け付けている事務局の考えはどうか。

【市川主査】

今までの事業では、ユニフォームを個人の所有とせず提案団体で管理している。この事業では、ユニフォームを揃え、来場者がすぐにスタッフと分かるようにしたいとの説明を受けている。

【上村会長】

横山委員の意見をどう取り扱うか。

**【船木委員】**

採点票が配布された際に、提案団体に質問があれば事務局へ確認するよう説明があった。その時点で話がなかったのであれば、このまま採択していいと思う。

**【滝本委員】**

採点結果を確認した段階で異議なしとなっている。それを遵守する方が良い。

**【望月委員】**

採択結果の通知に委員からの意見として「エプロン等は私物化しないこと」という文言を付けてはどうか。

**【新保委員】**

スタッフ用のエプロン等を作成するだけでなく、それを販売できるようにすれば更に頸城区の宣伝に繋がる。そうした条件を付けてはどうか。

**【上村会長】**

いろいろな意見が出たが、望月委員の発言のとおり意見をつけて委員の思いをしっかりと伝えたい。

**【本間次長】**

確認だが、補助申請された団体に採択結果を通知するにあたっては、附帯意見ではなく、その他特記事項に委員からの意見として「エプロン等の私物化はしないで団体の所有とすること」と付記することでよいか。

**【上村会長】**

それで良い。これで協議事項「(1) 地域活動支援事業の採択について」は終了とする。

次に「(2) 自主的審議事項について」に入る。事務局の説明を願う。

**【渡辺班長】**

・事務局からの説明

・2つの部会に分かれて、頸城区の特徴について意見交換。終了後、全員体制に戻り、各部会の座長が意見内容を発表する。

— 部会に分かれて意見交換 —

**【笠原委員】(Aチーム座長)**

頸城区で伸ばしたいものは、

- ・大池を中心とした観光アピールの拡大
- ・大池の自然を伸ばす
- ・自然を生かした大池の通年観光の確保
- ・大池キャンプ場の拡大
- ・大池小池の活用
- ・ビジターセンター

- ・ビオトープ
- ・セミナーハウス
- ・大池小池を活用し子どもたちを伸ばす

一般的に頸城区は自然が一番魅力で、それを前提に観光を含めたものを伸ばしてほしい。そのほかレールパークをアピールすること、地域の団体とも交流して地域全体を伸ばしていく、それには頸城区のソバなど名物を発掘していったらどうかという意見があった。

その他伸ばしたいことは、

- ・観光協会を中心とした各団体と意見交換をしながら観光の拡大を図る。
- ・南川地区では外国人が大変増えたことによる外国人への応援と交流
- ・南川地区商業施設の活性化（商業施設を多く誘致して頸城区全体の活性化を図る）
- ・買い物難民の解消

止めたいことという否定的な意見はなかった。

#### 【横山委員】（Bチーム座長）

- ・観光資源となる場所を利用したい
- ・上記に関連して交流をしなければならない
- ・交流した人たちが発信していかなければならない
- ・頸城区全体でもう一度交流したらどうか
- ・子どもが楽しんで遊ぶ場所が少ない
- ・高齢者には買い物がしづらい（買い物難民）
- ・働く場所が少ない（外国人は多いが）
- ・頸城区の情報に対して無関心、頸城区全体で交流事業をしてはどうか

これらを基に、地域とはいろいろな話し合いができると思う。

#### 【上村会長】

今ほどの意見を集約して事務局から後日全委員に送付してもらおう。それを参考にし、次回は将来像を考える方向で議論していきたい。

以上で、自主的審議事項については終了とする。

次第4 その他に入る。

#### 【本間次長】

- ・次回の地域協議会の日程について提案

6月15日（水）18時から

#### 【上村会長】

その他に何かあるか。

- ・なしの声
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail : [kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。